

特集「人間を超えるコンピュータ囲碁」にあたって

伊藤 毅志

(電気通信大学)

2017年5月下旬に中国浙江省烏鎮で開催されたGoogleによる“Future of Go Summit”は、中国当局の報道規制などが入り、昨年の李世ドル九段戦ほど報道されなかった。しかし、世界トップ棋士の柯潔九段がAlphaGoに圧倒されて3連敗するという結果は、世界の囲碁ファンに衝撃を与えた。ディープラーニングを用いた強化学習の力をまざまざと見せつけることとなった。

これまで、本誌で毎年この時期にコンピュータ囲碁の特集を書かせていただく機会を与えていただいていたが、この1年半ぐらいの間にこの分野に起こったことは、正直、我々の想像をはるかに超えた進化であった。

2016年1月、とある会合でコンピュータ囲碁について講演させていただいたのだが、そのときに著者は「コンピュータ囲碁が人間を超えるのは、あと10年はないか」と語っていた。この時点でディープラーニングの研究については聞き及んでいたが、まさかここまで急激な進化をもたらすとは思っていなかった。自分の不明を恥じるばかりである。

Googleの発表にUEC杯も電聖戦も大いに翻弄され、開催を危ぶむ声も聞かれる中、ともあれ、昨年、今年とその時点でのベストの選択で開催できたのではないかと考えている。人間を確実に超えたといえる今年、第10回となるUEC杯、第5回となる電聖戦は、確実に一つの役割を終えたと感じ、一区切りとさせていただくことにした。今年、World Go Championship (WGC) が電聖戦の日程に被せるように開催されることが知らされ、ギリギリまで電聖戦の日程に頭を悩ませた。

しかし、一力遼七段という新進気鋭のトップ棋士にご登場いただき、電聖戦Finalとしてこの上ない先生にご協力いただけたことは望外の幸せであった。一力先生には、結果として切れ役のような形になってしまったことに申し訳ない気持ちがあった。しかし、一力先生の対局風景からは、対局に前向きに取り組み、全力を尽くされ、その結果に対しては、悔しさをにじませながらも真摯に受け止め、コンピュータ囲碁からも吸収していこうという姿勢が感じられ、深く感銘した。著者もこの分野に携わり、コンピュータ囲碁からも貪欲に学ぼうとする若手プロ棋士の何人かに触れ、囲碁界の今後のますますの発展を肌で感じている。

ともあれ、UEC杯、電聖戦は一区切りとなり、このイベントを支えてくださった多くの方々に、この場を借りて感謝申し上げたい。人工知能学会には、UEC杯、

電聖戦に毎年ご後援いただくとともに、全国大会では、2016年まで、毎年「コンピュータ囲碁はどこまで人間に迫れるか」という企画を開催していただいていた。深く御礼申し上げる。

チェッカーやチェス、将棋など人間のトップとの対戦が過ぎると、その分野の研究者の多くは離れていった。囲碁においても、ご多分に漏れず、この1年の間に潮を引くように多くの研究者が離れていく現状がある。人工知能は、人と対峙することが目的ではなく、人と共存することが目的であるはずだ。ゲーム情報学の分野でも、強くする研究の先には、共存する研究も残されており、これからは、賢くなったAIとの共存を考える時代に来ているだろう。電気通信大学では、今年6月末に日本棋院と次の5年に向けた新たな提携を結んだ。「競争から協調へ」という内容に大きくシフトしている。

今回の特集では、まず著者がUEC杯と電聖戦のこの10年の歴史を振り返り総括する。そして、UEC杯、電聖戦、WGCに出場するなど大活躍のDeepZenGoの技術と自戦記を加藤英樹氏にお願いした。さらに、UEC杯で3位入賞したRaynの開発者、小林祐樹、松崎憲介両氏に自戦記をお願いした。また、長きにわたってコンピュータ囲碁大会を観戦して下さってきたプロ棋士大橋拓文六段に、UEC杯を中心にコンピュータ囲碁の進化について書いていただいた。電聖戦については、対戦していただいたプロ棋士一力遼七段に自戦記という形で原稿を依頼し、WGCについては、コンピュータ囲碁に造詣が深く、独自の目線で囲碁を捉えていらっしゃるプロ棋士の王銘琬九段に書いていただいた。そして、中国で行われたFuture of Go Summitでは、日本人で唯一対局場に入るパスをもち、柯潔九段とAlphaGoの対戦を間近で観戦されてきたプロ棋士小林千寿六段に、肌で感じた対戦の様子とこれまでのコンピュータ囲碁開発者との交遊録について語っていただいた。

今、まさにすべての原稿がそろい、目を通したが、それぞれのお立場から、コンピュータ囲碁の技術から囲碁の専門的な内容まで、かなり深く語ってくださっている。

昨年の特集のときにも書いたが、コンピュータ囲碁の研究は、これであくまで一区切りであって、終わりではないと思っている。コンピュータ囲碁が示してくれる新しい道は、我々に多くの示唆を与えてくれている。この特集記事を読んで、新たにこの分野に興味をもってくださる人がいれば幸いである。